



若者についての相談など
ご連絡ください!!
こどもの里 自立援助ホーム
〒557-0025 大阪市西成区長橋 2-5-13
Tel 06-7508-1238
または、06-6645-7778(こどもの里)
HPアドレス http//
www.eonet.ne.jp/~kodomonosato/

高校卒業、ホームを退居して次のステージへ！



☆二人の若者が専門学校へ進学しました☆

高校生活を送る中でたくさん悩み考え、自分のやりたいことが具体的になってきた二人。高校三年生になってからは、奨学金の申請などで自分の過去・現在・未来についてスタッフと何度も何度も話し合いをしました。最後には二人とも、今の高校に行けて、そしてホームで生活できて本当に良かったと笑顔で話してくれました。高校一年生の頃とは見違えるほどに大人の顔へと成長しています。

高校卒業、そして進学おめでとうございませう。二人の若者が未来に希望を抱き、前へ進む姿を見ることができて私たちも嬉しいです。これからの活躍を心より期待しています。
(甲斐)



「いいたいことが言い合える存在」ホームの若者へインタビュー② Aくん 聞き取り 植月

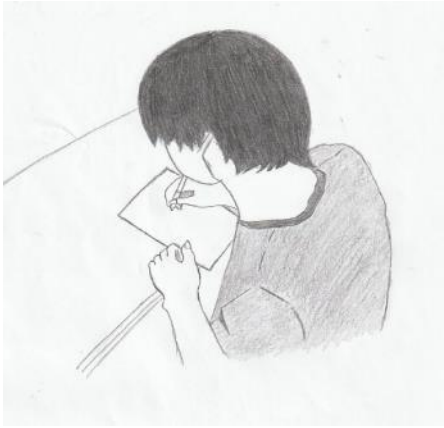
(14号のつづき)

『実家では「なんでオレだけこんな辛い目にあわなあかんねん」と思っていたけど、ホームで生活し始めて、「自分の気分」を素直に大切にすることで「自己満足」があがり生活が充実し、心の余裕ができた。高校2年の9月頃から1人の友達と仲良くなった。本音で付き合える友達だ。今までは自分の意見を言う事で怒られたり、嫌われたりすることを避けていたけど、その友達とは意見の食い違いはあるが互いにリスペクトしている。何も考えずに思ったことをいっても嫌われない。自分がポジティブになった。

学校のクラスに人見知りで自分に似ている同級生がいて、前から気になっていた。その子と仲良くなりたかった。授業でいっしょになりだんだんと仲良くなった。ある時、自分の家の話をしてくれた。深い話をした。うれしかった。それから大切な友達が1人ふえた。その友達は旅行に行ったことがなかった。それから3人でいっしょにいろんなところへ旅行にいった。そうやって過ごすうちにその友達も変わってきた。今、毎日が本当に充実している。

“そばにいてくれる存在”がいるかないかで全然ちがう。昔、真夏に10日間飲まず食わずで過ごしたことがある。その頃は日々を生き延びることで精一杯だった辛い頃から考えると「あきらめたらあかん」「生きていてよかった」と今思う。ホームでの生き方が自分に合っていた。今、不安なのは学校を卒業して友達と離れていくこと。この先、就職したり結婚したり互いの生活が変わると今みたいな楽しみがなくなることが・・・』

ホームに新しい若者がやってきました！



Hくん

・自分の性格は？

人見知りをする。でも、話をするのは好き。
相手が不快に思わないよう気をつけている。

・好きなことは？

絵を描くこと。小学生の頃にクラブで絵を描いていた。マンガ
のキャラクターを描いたりしている。

・特技は？

ゲームをすること。絵を描くこと。

・好きな食べ物は？

ラーメン。塩でも醤油でも豚骨でも、どんな味でも好き！

・ホームに来てやりたいことは？

行ったことがない映画館に行ってみたい（友達と）。コミュニケーションをもっと上手にとれるようになり
たい。目標は、高校卒業の資格を取ること。

中学卒業のタイミングでホームへ入居することになった H くん。まずは仕事を探すと意気込んでいます。理由があって現在高校には進学していませんが、高校卒業資格は取りたいと数学や英語などの勉強に取り組んでいる頑張り屋さんです。日々少しずつでも前へ進み、その目標を叶えてほしいです。

料理スタッフ・井上さんのつぶやき

子ども達の体を動かす源となる食事、そして食育は大切です。私はそんな夕食作りのお手伝いに、週に一度
きています。美味しい！と食べてくれる子ども達と共に過ごす時間は、子育てがとっくに終わった私には、料
理を作る喜びと子ども達と接する楽しみがあります。子ども達はホームに帰って来るとほっとするのしょう
か、その日の出来事を賑やかに話しています。台所でその会話を聞きながら、頼もしくもあり、まだまだ甘い
なあと感じることもあります。料理を盛り付けながら、どうぞ今日も一日心も身体も満足し、豊かに育っていき
ますようにとお祈りしています。

社会的養護のことば⑨「里親制度」

親の病気、家出、離婚、その他いろいろな事情により家庭で暮らせない
子どもたちを、自分の家庭に迎え入れて養育する人のことを里親といいます。
里親制度は、里親となることを希望する人に子どもの養育をお願いす
る制度です。

幼い頃から児童養護施設などの施設で長期間生活した子どもは、「家庭」
での暮らしを知りません。「自分だけを見てくれる大人」の存在を知りま
せん。そうすると、自分が家庭を持つときにどう子育てしていいのかわか
らず、子育てが難しい状況になってしまいます。そのためにも、里親によ
る養育が必要なのです。

